

ドイツ バイクネイチャームーブメント

ドイツ二輪車産業協会（ZIV）は「バイクネイチャームーブメント：マウンテンバイクのための強い声」と称し、マウンテンバイクの利活用について提案している。

ZIVによると、サイクリングは増加傾向にある。これは自転車利用率や自転車販売台数によるものだけでなく、ベルリンとブリュッセル（ドイツ連邦政府と欧州連合）の政治的重要性にも関係する。ただ、これまでのところ自転車利用の促進はしばしば森の端で止まってしまっている。

そうしたことから、ドイツ・イニシアチブ・マウンテンバイク（DIM）、マウンテンバイク・ツーリズム・フォーラム・ドイツ（MTFD）及びドイツ二輪車産業協会（ZIV）の3団体は共同で、森や開かれた田園地帯でのサイクリングを「バイクネイチャームーブメント」と称する取り組みとして実施することで、マウンテンバイクの認知度を高めるとともに、政治的重みも増していこうとしている。

マウンテンバイクをチャンスと捉えて

アレンスバッハ世論調査研究所によると、ドイツではマウンテンバイクの熱心な利用者は1,600万人以上いるとされる。また、マウンテンバイクを頻繁に利用している人は382万人で、これは熱心なサッカー競技人口の320万人を上回っている。

MTFDは「我々の共通目標は、自然にやさしく包括的な方法で、ドイツにおけるマウンテンバイクの利活用を形成し、我々の社会のために自転車利用の可能性を促進、活用することである」としている。

この取り組みでは、自然の中でのサイクリングの利点を公的及び政治的な視点で考えている。ますますデジタル化された世代が、持続可能なモビリティや、自然と景観の保全と保護に関心を持つ機会は、ほとんど見過ごされているか、過小評価されているからである。

国際的な研究によると、環境にやさしいアウトドアスポーツは、特に子供や若者にとって、健康予防の面で高い効果をもたらす。その上でも、この取り組みは、マウンテンバイク利用の社会的チャンスを強調し、より利用しやすくすることを目的としている。

さらに、DIMBは「現代のマウンテンバイクインフラによる農村地域と、住みやすい都市部の評価は、ドイツ国内や国際的な例によって証明されている。しかし残念ながらドイツでは多くの場合、議論は依然として受け入れと混乱の中で展開されている」と補足している。

明確な目標を掲げた5つの行動

ZIVの担当者は「バイクネイチャームーブメント」の目標として、次の5つの項目を掲げている。

- ・連邦政府及び州レベルでの自転車への関心の表明と専門的に特化した機能。
- ・ドイツ自転車クラブ連邦協会(ADFC)と連携したベルリンや州都での政治活動。
- ・個々の活動を行っている団体がこの機会に連携し、あらゆるアウトドアスポーツとサイクリング協会の活動への緊密な協力と繋がりを目指す。
- ・大自然の中でサイクリングするための法的根拠を確保することに加えて、サイクリストのためのより多くの、より良い提案のためにマウンテンバイクに関するネットワークと教育に多大な労力を費やす。
- ・DIM、MTFD及びZIVの3団体は、自治体並びに観光業界を通じた規制やガイドラインの作成に加え、専門的なメディア活動を行う。

自転車業界が業界団体を支援

DIM、MTFD及びZIVの3団体は、すでにZIVの主要メンバーにこの取り組みへの支援の承諾を得ており、支援グループの輪も徐々に広がっている。

以 上

出所：ドイツ二輪車産業協会